

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ  
A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した  
C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

黄色塗り部分は決算報告時に記載(配付申請時は記載不要)

【様式1】

## 令和7年度 校長経営戦略支援予算学校配付申請書

(校園コード 641398 )

※校園コードを必ず入力してください。

取組に対する評価状況

学校名 三国小学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 1,249,000 円 → 決算額  円

### 2 配付上限額

学校配当	学級数	特別支援学級及び通級による指導の開設校(1開設1学級とみなす)	学級配当
350,000	+ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">21学級</span> + <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10学級</span> × <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">29,000</span>		
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。			
配付上限額 = <span style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 150px;">1,249,000</span>			

### 3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

- ・令和6年度末の校内児童アンケートで、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・令和6年度末の校内児童アンケートで「英語の学習は好きですか。」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・ゆとりの日を週に1回設定・実施する。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

### 4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

（記入欄）

### 5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

- ・「三国小学校の人権教育」に沿って全学級で実践し、年に1回実践交流の場を設ける。／・ソンセンニム、特別支援に関して、他の機関と連携し、年に8回以上の体験活動に取り組む。／・地域講師を招聘した英語授業を、1・2年生は年間3回以上、3~6年生は学期に3回以上実施する。／・ゆとりの日を週に1回設定・実施する。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

### 6 昨年度からの改善点など ※自由記入

（記入欄）

【裏面に続く】

## 7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【基本的な方向番号、名称】		達成
「互いの違いを認め合い、思いやりの心をもつ子ども」「自分のよいところを自覚し、そのよさを大切にできる子ども」を育てるために、「多様な体験活動」を盛り込んだ人権教育を進める。 ・韓国・朝鮮の文化についてソンセンニムから学び、異文化交流をする。 ・芸術鑑賞会の実施 ・歴史・平和教育の充実		
①予算内訳 7-1 講師謝礼（ソンセンニム）@4300円×6時間=25800円 12 委託料（芸術鑑賞会） 300000円 11-1 ニッセイ名作劇鑑賞交通費 @120円×2×130名=31200円 8-5 ニッセイ名作劇場鑑賞の下見・付添交通費 @261円×2×7人=3654円 11-1 歴史・平和学習児童交通費 @120円×2×131名=31440円 8-5 歴史・平和学習下見・付添交通費 @261円×2×7人=3654円 合計395748円		
②決算内訳		
(2)取組内容【基本的な方向番号、名称】		達成
全学年で英語教育を計画的に実施し、地域講師の協力も得て、英語に触れ、慣れ、親しみながらコミュニケーション能力を育成する。 ・学年の発達段階に応じた英語学習のカリキュラムを構築する。 ・全学生の児童に対して、地域英語講師と担任による英語の学習を実施する。		
①予算内訳 7-1 講師謝礼（1年英語）@5200円×4時間×3回=62400円 (2年英語) @4300円×4時間×3回=51600円 (3年英語) @4300円×3時間×9回=116100円 (4年英語) @4300円×4時間×9回=154800円 (5年英語) @5200円×3時間×9回=140400円 (6年英語) @5200円×4時間×9回=187200円 計712500円		
②決算内訳		
(3)取組内容【基本的な方向番号、名称】		達成
ICT機器の活用、スクールサポーター、林間学習のキャンプリーダー等の外部人材を活用し、勤務時間の削減に努める。加えて、行事の精選についても計画的に行う。 ・林間学習におけるキャンプリーダーの募集		
①予算内訳 7-1 講師謝礼（キャンプリーダー1名）@7000円×3日=21000円 7-1 講師謝礼（キャンプリーダー1名）宿泊費 @5000×2泊=10000円 7-1 講師謝礼（キャンプリーダー1名）交通費 5000円 10-1 消耗品費 80000円 計116000円		
②決算内訳		

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。